



ボラン・て 12月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。



～今できることを～
工夫して 一歩踏み出したい！withコロナ

すまいる高円寺

▲夏のボランティア体験で制作した
施設に贈る飾り

障害のある方の活動について「チャレンジ」と、
「すまいる高円寺」の職員の方々にお話をうかが
いました。詳細は2面をご覧ください。



点字教科書の製作▶

チャレンジ



▲オリジナル製品
ユニバーサルデザインカレンダー
Japan ムサシ

【特集】 ～今できることを～ 工夫して 一歩踏み出したい！withコロナ
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター「チャレンジ」
杉並区障害者地域相談支援センター高円寺 すまいる高円寺

3面・裏面・・・センターからのお知らせ

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール
貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集】

～今できることを～ 工夫して 一歩踏み出したい！ withコロナ

【特集】～今できることを～では、新しい生活様式の中で、一歩踏み出し活動している様子をお伝えします。
今回は2団体の方々にお話をうかがいました。
・視覚障害者支援総合センター理事長の^{ひきた あきお}引田 秋生さん、
就労継続支援B型施設「チャレンジ」施設長の^{しやうの はるよ}賀野 晴代さん、
サービス管理責任者の三好 明子さん(杉並ボランティアセンター運営委員)
・杉並区障害者地域相談支援センター高円寺「すまいる高円寺」センター長の^{いし まゆみ}石井 真由美さん

障害者の活動、コロナ禍の影響と今

チャレンジ

引田さん、賀野さん、
三好さんにうかがいました

就労継続支援B型施設「チャレンジ」は、視覚障害者が社会参加へチャレンジする機会を作ることを目的に、社会福祉法人 視覚障害者支援総合センターが立ち上げました。点字出版や点字のオリジナル製品を制作しています。

●コロナ禍の影響

イベントの中止に伴い、オリジナル製品の販売の機会や受注が減少しました。また、2020年4月～利用者14名を2つのグループに分け、隔日通所へ。コロナの影響による利用者の精神的、経済的負担は大きいものでした。視覚障害者は、聴覚や触覚から大切な情報を得ています。「外出や『チャレンジ』に通う際にも、触ってものを確認することや、バスに乗る際に人との距離感をつかむことに気を遣いました。視覚障害者はみんな不安でした」と当事者である三好さんは話します。

●対応や工夫

毎日通所ができるように、事務所内の感染症対策や杉並区によるワクチンの巡回接種が整ったことから、2021年7月26日～利用者の毎日通所を再開することができました。さらに厚生労働省が出している感染予防に関する情報を点字にして利用者に配布しました。本来であれば、通所は仕事だけでなくお互いの近況報告など、利用者にとっては楽しいコミュニケーションの場です。毎日通所が再開し全員が顔を合わせて集まったときには、活気が戻り利用者、職員共に喜び合いました。



▼パソコンで点訳
する三好さん



▲ページに曲がりかからないかチェック

することは社会とつながる機会でもあり、喜びとなっています。地域の支援センターとして、視覚障害者を理解してもらいながら多くの方々の目で支えていただきたいと思います。

●withコロナの今

「チャレンジ」では、利用者をサポートするボランティアの存在は欠かせません。一時は、感染予防のためにボランティアの人数は減りましたが、現在30名ほどの方が登録しています。利用者にとってもボランティアの方々と一緒に仕事をす

すまいる高円寺

石井さんに
うかがいました

杉並区障害者地域相談支援センター高円寺「すまいる高円寺」では、高円寺福祉事務所のエリア内の在住・在勤の方を対象に、障害者手帳の有無や障害種別に関わらず、生活全般に関する相談を行っています。また、様々なプログラムや講座、イベントを通して、障害のある方が充実した生活につながる活動をしています。

●コロナ禍の影響

「すまいる高円寺」では、利用者との面談や活動が休止し、職員が利用者宅へ訪問することもできないことがありました。特に精神障害のある方の電話での相談が増え、先行きの見えない不安が増えたと感じました。

●対応や工夫

感染者数の状況を確認しながら、杉並区と相談して活動を再開しました。感染症対策を徹底したことに加え、活動の際に密にならないようにレイアウトを工夫したり、参加者を予約制にして5～7名の人数制限を設けたりしてプログラムを行っています。



▲ハンドメイドの活動

●withコロナの今

プログラムの活動としては、杉並ボランティアセンターが開催した夏のボランティア体験「施設に贈る飾りを作ろう」に参加し、高齢者施設へ贈る飾りを利用者と作りしました。参加者からは、「こういうかたちで貢献できて充実感があった」と感想をいただきました。ボランティアに関わることで、色々な人との出会いが実現し、相手の気持ちを思いながら活動する機会につながってい



ます。withコロナによって参加しやすくなったボランティアもあるので、社会参加の新たな一歩を踏み出すきっかけになるのではないのでしょうか。

すまいる高円寺でもボランティア活動やボランティアの受け入れを通して、多くのつながりをつくっていきたいと思います。

▲プログラムの作品
(フェルトで作られたアマビエ)

○社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター 就労継続支援B型事業所 チャレンジ

〒167-0034 桃井4-4-3 スカイコート西荻窪2

TEL: 03-5310-5052(チャレンジ) FAX: 03-5310-5053

※ユニバーサルデザインカレンダー販売中！(表紙参照)

○杉並区障害者地域相談支援センター高円寺 すまいる高円寺

〒166-0003 高円寺南2-24-18 4階

TEL: 03-5306-6381 FAX: 03-5306-6383

映画「星に語りて ～Starry Sky～」上映会

11月3日(水・祝)に映画「星に語りて ～Starry Sky～」の上映会を行いました。

東日本大震災から10年。この映画は、震災当時の障害者の状況と支援者の活動について、当時を知る証言者たちへの取材に基づき撮影された映画です。

当日は83名の方にご来場いただきました。また、16名のボランティアの方にスタッフとしてご協力いただきました。

映画の上映後にはトークセッションとして「私はこう行動したい」「やらないといけなかったこと」について用紙にご記入いただき、その内容を何人かの方にお話していただきました。

その他にも、「映画を観てはじめて障害者たちの現実を知り愕然としたが、やはり声をあげることが大事なことだと思った」「東日本大震災から10年、今回映画を観て改め



▲トークセッションでの色とりどりの用紙と共に参加者の皆さんと！

て考えさせられ人とのつながりの大切さを感じました」といったご感想もいただきました。

同じ地域に暮らす住民として、多くの方にご覧いただき考える機会となりました。

令和3年度 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座

講座の様子▶



◀参加者の皆さん

10月2日(土)から11月6日(土)の期間で災害ボランティアセンター(以下、災害VC)運営スタッフ養成講座を行いました。災害時に災害VCが立ち上がった際にスタッフとしてご協力いただける方を養成する全4回の講座で、20名の方が参加しました。

講座では、杉並区の防災の取り組みや、災害VCの機能と役割について学んでいただき、災害ボランティア体験と災害VCスタッフ体験のシミュレーションを行いました。最終日には全体の振り返りを行いました。

修了生の皆さんには、当センターで行っている災害VCに関する事業にご協力いただく予定です。

令和4年度 地域福祉活動費助成金

『地域福祉の推進と団体の自立性を促進すること』を目的に、杉並区内で福祉活動を行っている団体、もしくは活動開始予定の団体が行う事業を「助成金」で応援します。

申請方法

杉並ボランティアセンターへ郵送、または持参。

【申請期間】 令和3年12月1日～令和4年1月21日
提出後、事業内容について面談させていただきます。

説明会

12月14日(火) 15:00～16:30
12月23日(木) 18:30～20:00
令和4年1月7日(金) 18:30～20:00
※各団体2名まで

●各回2日前までに杉並ボランティアセンターへ電話にて申込みください。

詳細は、杉並ボランティアセンターホームページをご確認ください！

★杉並・グルメ・さんぽ★

特定非営利活動法人まどか アゲイン(永福1-27-31)
※2022年1月5日～永福4-1-11へ移転
TEL: 03-5300-2834 FAX: 03-6264-7515
<http://chouchou-madoka.com/again/>



マドレーヌ
80円(1コ)～

お問合せ



杉並ボランティアセンター
TEL: 03-5347-3939
FAX: 03-5347-2063

歳末たすけあい運動・地域福祉活動募金

歳末たすけあい運動は、地域福祉のさらなる充実のため、区内ボランティア団体の活動やきずなサロンなどの地域に根差した福祉活動、また区内の学校へ貸し出す福祉体験用具(車いす、高齢者模擬体験セット)の購入などに役立てられます。

今年もみなさまのあたたかいご支援をお願いいたします。

募金方法

- 杉並区社会福祉協議会の窓口
(天沼3-19-16ウェルファーム杉並2階、4階)
- 町会、自治会を通じての募金
- 振込先 ※右記をご確認ください。
- au PAY
スマホにau PAYアプリをインストールし、アプリ内のコード読み取り機能から右記QRコードを読み取ると募金ができます。



▲ 福祉教育推進事業



【振り込み方法】

◆ ゆうちょ銀行もしくは郵便局で手続きする場合
ゆうちょ振込口座 記号・番号: 00180-5-500629
口座名義: 東京都共同募金会杉並地区協力会

◆ ほかの銀行等の金融機関から、ゆうちょ口座へ振り込む場合

銀行名: ゆうちょ銀行 支店名: 〇一九(ゼロイチキュウ)店
口座種類: 当座
口座番号: 0685267
口座名義: 東京都共同募金会杉並地区協力会
※ 手数料をご負担いただく場合があります。
※ ご連絡いただければ払込取扱票をお送りします。

お問合せ

杉並区社会福祉協議会 経営管理課 連携推進係
TEL: 03-5347-1010 FAX: 03-5347-2061

募集中

チャレンジ! ボランティア特別企画 ボランティアって、なんだ?

【すぎなみ地域大学&杉並ボランティアセンター共同開催】
地域でいろいろな活動に取り組んでいる先輩たちをゲストとして迎え、座談会形式でお話をうかがいます。

ゲスト

- グリーンバード高円寺 チーム リーダー: 谷村 一成 氏
- 善福寺プレーパークの会 代表: 中村 美奈子 氏
- すぎなみ地域大学修了生: 橋本 淳 氏

申込み・お問合せ

はがき・ファクス・Eメールにて
①氏名(ふりがな)②年齢③住所④電話番号⑤受講動機⑥在勤・在学の方は勤務先・学校名を記入の上、杉並区地域課 すぎなみ地域大学担当へ
〒166-0015 成田東4-36-13
TEL: 03-3312-2381 FAX: 03-3312-2387
Eメール: tiikidaigaku-t@city.suginami.lg.jp

無料



木原 秋好 氏

- 日時 令和4年2月19日(土) 13:30～16:30
- 会場 ウェルファーム杉並3階 第1・2教室(天沼3-19-16)
- 講師 すぎなみ地域大学学長
木原 秋好 氏(元NHKアナウンス室長)
- 対象者 区内在住・在勤・在学の方
- 定員 30名
(申込み多数の場合は抽選)

杉並ボランティアセンター 年末年始休業日のお知らせ

杉並ボランティアセンターは**12月29日(水)～1月3日(月)**まで休業いたします。
今年も一年間ありがとうございました! 新年が皆様にとって素晴らしい年となりますように...
ボラセン職員一同



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うえるくん
杉並協のイメージキャラクター

開所時間: 火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内 JR、地下鉄丸の内線など)・他